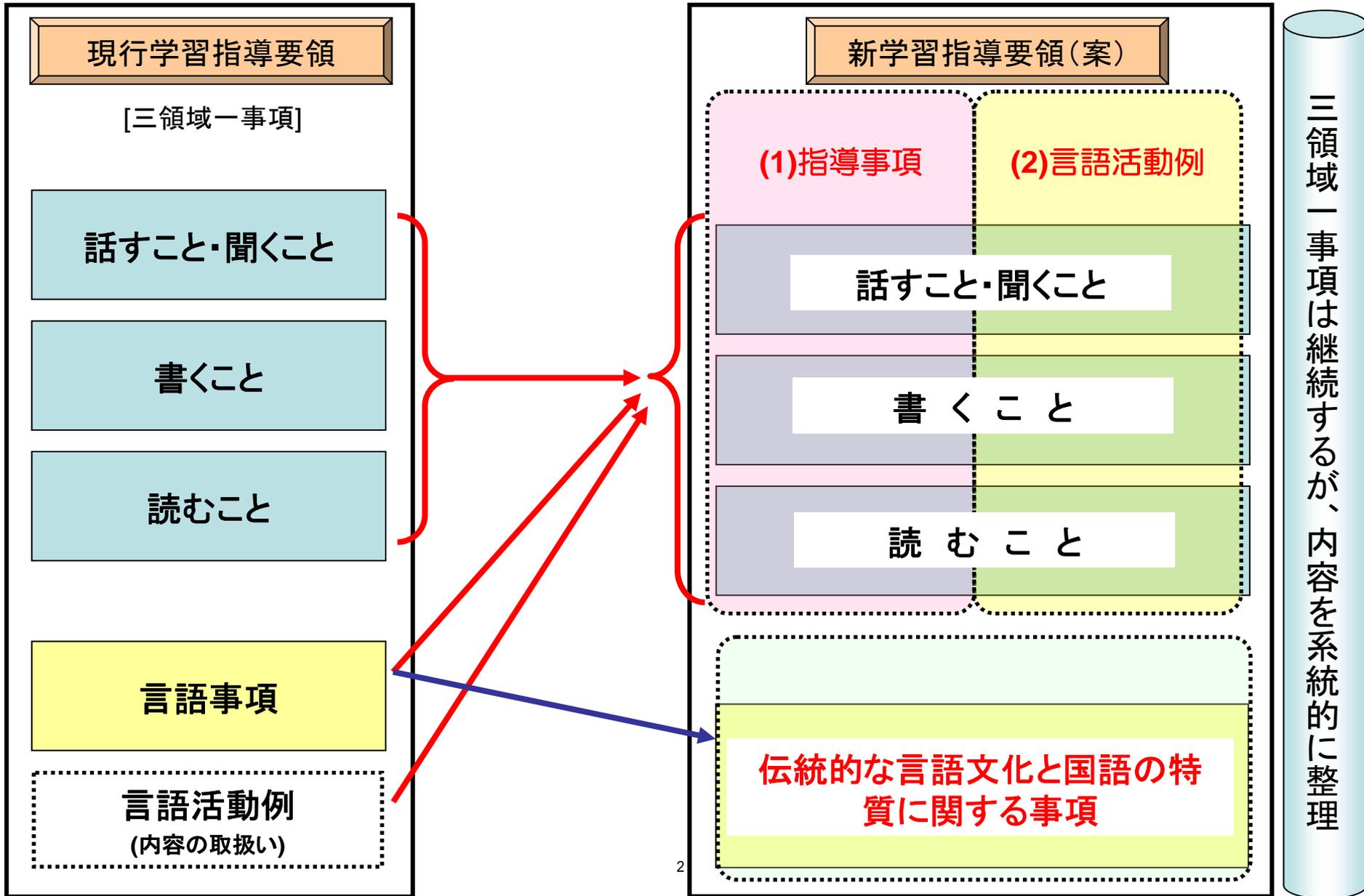


## 関 連 資 料

○ 国語	2
○ 小学校 社会科	3
○ 中学校 社会科	4
・ 地理的分野	
・ 歴史的分野	
・ 公民的分野	
○ 小学校 算数科	7
○ 中学校 数学科	9
○ 小・中学校 理科	10
・ A区分・第1分野	
・ B区分・第2分野	
○ 小学校 家庭科	12
○ 中学校 技術・家庭科	13
・ 技術分野	
・ 家庭分野	
○ 小学校 体育科	15
○ 中学校 保健体育科	17
○ 外国語科	19

# 小中学校国語科・学習指導要領改訂イメージ



内容比較表（小学校 社会）

	改訂案	現 行
第3学年	<p>(1)身近な地域や市の様子 ア 土地利用，交通，古くから残る建築物</p> <p>(2)地域の人々の生産や販売 ア 生産や販売に関する仕事 イ 仕事の特徴と他地域とのかかわり</p> <p>(3)健康な生活や良好な生活環境 ア 飲料水（電気，ガス）の確保 イ 計画的な対策</p> <p>(4)安全な暮らし ア 関係機関と人々との協力 イ 関係機関の対処体制</p> <p>(5)地域の生活の変化と先人の業績 ア 道具の移り変わりとくらしの変化 イ 地域の文化財や年中行事の継承 ウ 地域の発展に尽くした先人の事例</p> <p>(6)自分たちの住んでいる県の様子 ア 市や県の位置，都道府県の名称と位置 イ 県の地形や産業の概要，交通網と主な都市 ウ 県内の特色ある地域の人々の生活 エ 他地域や外国とのかかわり</p>	<p>(1)身近な地域や市の様子 ア 土地利用，交通</p> <p>(2)地域の人々の生産や販売 ア 生産や販売に関する仕事 イ 仕事の特徴と他地域とのかかわり</p> <p>(3)健康な生活 ア 飲料水（電気，ガス）の確保 イ 計画的な対策</p> <p>(4)安全な暮らし ア 関係機関の対処体制</p> <p>(5)地域の生活の変化と先人の業績 ア 道具の移り変わりとくらしの変化 イ 地域に残る文化財や年中行事 ウ 地域の発展に尽くした先人の事例</p> <p>(6)自分たちの住んでいる県の様子 ア 市の位置 イ 県の地形や産業の概要，交通網と主な都市 ウ 産業や地形条件からみて特色ある地域の人々の生活 エ 他地域や外国とのかかわり</p>
第5学年	<p>(1)国土の自然と国民生活 ア 世界の主な大陸と海洋，主な国の名称と位置，我が国の位置と領土 イ 国土の地形や気候の概要，自然条件で特色ある地域 ウ 公害から国民の健康や生活環境を守る エ 森林資源の働き，自然災害の防止</p> <p>(2)食料生産と国民生活 ア 様々な食糧生産，輸入 イ 主な食料生産物の分布や土地利用 ウ 生産の工夫や努力，運輸</p> <p>(3)工業生産と国民生活 ア 様々な工業製品 イ 工業生産や工業地域の分布 ウ 生産の工夫や努力，貿易と運輸</p> <p>(4)情報産業と国民生活 ア 放送（新聞）と国民生活 イ 情報化した社会の様子</p>	<p>(4)国土の自然と国民生活 ア 国土の位置，地形や気候の概要 イ 気候で特色ある地域 ウ 公害から国民の健康や生活環境を守る エ 森林資源の働き</p> <p>(1)食料生産と国民生活 ア 様々な食糧生産，輸入 イ 主な食料生産物の分布や土地利用 ウ 生産の工夫や努力，運輸</p> <p>(2)工業生産と国民生活 ア 様々な工業製品 イ 工業生産や工業地域の分布 ウ 生産の工夫や努力，貿易と運輸</p> <p>(3)通信などの産業 ア 放送（新聞，電信電話）と国民生活 イ 従事する人々の工夫や努力</p>
第6学年	<p>(1)日本の歴史 ア 狩猟・採集，農耕の生活，古墳，国土統一 イ 天皇中心の政治と日本風文化 ウ 武士による政治の始まり エ 室町文化 オ 戦国の世の統一と武士による政治の安定 カ 町人の文化 キ 明治の近代化 ク 国力の充実と国際的地位の向上 ケ 民主国家の出発と国民生活の向上</p> <p>(2)わたしたちの生活と政治 ア 地方公共団体や国の政治の働き イ 国家や国民生活の基本を定める憲法</p> <p>(3)世界の中の日本 ア 日本とつながりの深い国のくらし イ 日本の国際協力，国際連合の働き</p>	<p>(1)日本の歴史 ア 農耕の始まり，古墳，国土統一 イ 天皇中心の政治と日本風文化 ウ 武士の政治の始まりと室町文化 エ 戦国の世の統一 オ 武士の政治の安定と町人の文化 カ 明治の近代化 キ 国力の充実と国際的地位の向上 ク 民主国家の出発と国民生活の向上</p> <p>(2)わたしたちの生活と政治 ア 地方公共団体や国の政治の働き イ 国家や国民生活の基本を定める憲法</p> <p>(3)世界の中の日本 ア 日本とつながりの深い国のくらし イ 日本の国際協力，国際連合の働き</p>

※ (1)，(2)…の大項目名及びア，イの中項目名は，便宜上，内容が分かるように付けたもの

内容比較表（中学校 社会（地理的分野））

改訂案	現 行
<p>(1) 世界の様々な地域</p> <p>ア 世界の地域構成</p> <p>イ <b>世界各地の人々の生活と環境</b></p> <p>ウ <b>世界の諸地域</b></p> <p>    (ア) アジア     (イ) ヨーロッパ     (ウ) アフリカ     (エ) 北アメリカ     (オ) 南アメリカ     (カ) オセアニア</p> <p>エ 世界の様々な地域の調査</p> <p>(2) 日本の様々な地域</p> <p>ア 日本の地域構成</p> <p>イ 世界と比べた日本の地域的特色</p> <p>    (ア) 自然環境     (イ) 人口     (ウ) 資源・エネルギーと産業     (エ) 地域間の結び付き</p> <p>ウ <b>日本の諸地域</b></p> <p>    (ア) 自然環境を中核とした考察     (イ) 歴史的背景を中核とした考察     (ウ) 産業を中核とした考察     (エ) 環境問題や環境保全を中核とした考察     (オ) 人口や都市・村落を中核とした考察     (カ) 生活・文化を中核とした考察     (キ) 他地域との結び付きを中核とした考察</p> <p>エ 身近な地域の調査</p>	<p>(1) 世界と日本の地域構成</p> <p>ア 世界の地域構成</p> <p>    (ア) 地球上の位置関係と水陸の分布     (イ) 国々の構成と地域区分</p> <p>イ 日本の地域構成</p> <p>    (ア) 日本の位置と領域     (イ) 都道府県の構成と地域区分</p> <p>(2) 地域の規模に応じた調査</p> <p>ア 身近な地域</p> <p>イ 都道府県</p> <p>ウ 世界の国々</p> <p>(3) 世界と比べて見た日本</p> <p>ア 様々な面からとらえた日本</p> <p>    (ア) 自然環境から見た日本の地域的特色     (イ) 人口から見た日本の地域的特色     (ウ) 資源や産業から見た日本の地域的特色     (エ) 生活・文化から見た日本の地域的特色     (オ) 地域間の結び付きから見た日本の地域的特色</p> <p>イ 様々な特色を関連付けて見た日本</p>

内容比較表(中学校 社会(歴史的分野))

改訂案	現行
<p>(1) <b>歴史のとらえ方</b></p> <p>ア 時代の区分と移り変わり</p> <p>イ 身近な地域の歴史を調べる活動</p> <p>ウ 各時代の特色</p>	<p>(1) <b>歴史の流れと地域の歴史</b></p> <p>ア 関心ある主題を設定しまとめる活動</p> <p>イ 身近な地域の歴史を調べる活動</p>
<p>(2) <b>古代までの日本</b></p> <p>ア 世界の古代文明のおこりと日本の国家形成</p> <p>イ 国家のしくみの整備、天皇・貴族の政治</p> <p>ウ 国際的な要素をもった文化と文化の国風化</p>	<p>(2) <b>古代までの日本</b></p> <p>ア 世界の古代文明、日本における農耕の広まり</p> <p>イ 国家が形成されていく過程のあらまし</p> <p>ウ 国家のしくみの整備、天皇・貴族の政治</p> <p>エ 国際的な要素をもった文化と文化の国風化</p>
<p>(3) <b>中世の日本</b></p> <p>ア 武家政治の成立と広まり</p> <p>イ 諸産業の発達、自治的な仕組み、文化の特色</p>	<p>(3) <b>中世の日本</b></p> <p>ア 武家政治の成立と武家社会の展開</p> <p>イ 諸産業の発達、自治的な仕組み、文化の特色</p>
<p>(4) <b>近世の日本</b></p> <p>ア ヨーロッパ人来航の背景と影響、織田・豊臣の政治</p> <p>イ 江戸幕府の政治の特色</p> <p>ウ 産業や交通の発達と町人文化の形成</p> <p>エ 幕府政治の行き詰まり、新しい学問・思想</p>	<p>(4) <b>近世の日本</b></p> <p>ア ヨーロッパ人の来航とその影響</p> <p>イ 織田・豊臣の政治</p> <p>ウ 江戸幕府の政治の特色</p> <p>エ 産業、交通の発達と町人文化の形成</p> <p>オ 幕府政治の行き詰まり、新しい学問・思想</p>
<p>(5) <b>近代の日本と世界</b></p> <p>ア 欧米諸国の近代化とアジア進出</p> <p>イ 開国と明治維新、近代国家の基礎</p> <p>ウ 立憲制国家の成立、我が国の国際的地位の向上</p> <p>エ 近代産業の発展と近代文化の形成</p> <p>オ 第一次世界大戦前後の日本と世界</p> <p>カ 第二次世界大戦終結までの日本と世界</p>	<p>(5) <b>近現代の日本と世界</b></p> <p>ア 欧米諸国のアジア進出、開国とその影響</p> <p>イ 明治維新の経緯、近代国家の基礎</p> <p>ウ 我が国の国際的地位の向上、大陸との関係</p> <p>エ 近代産業の発展と近代文化の形成</p> <p>オ 第一次世界大戦後の日本と世界</p> <p>カ 第二次世界大戦終結までの日本と世界</p>
<p>(6) <b>現代の日本と世界</b></p> <p>ア 第二次世界大戦後の民主化と再建</p> <p>イ 高度経済成長以降の日本と世界</p>	<p>キ 第二次世界大戦後の民主化と再建</p> <p>ク 高度経済成長以降の日本と世界</p>

※ ア、イ…の中項目名は、便宜上、内容が分かるように付けたもの

内容比較表（中学校 社会（公民的分野））

改訂案	現 行
<p>(1) 私たちと現代社会</p> <p>ア 私たちが生きる現代社会と文化</p> <p>イ 現代社会をとらえる見方や考え方</p>	<p>(1) 現代社会と私たちの生活</p> <p>ア 現代日本の歩みと私たちの生活</p> <p>イ 個人と社会生活</p>
<p>(2) 私たちと経済</p> <p>ア 市場の働きと経済</p> <p>イ 国民の生活と政府の役割</p>	<p>(2) 国民生活と経済</p> <p>ア 私たちの生活と経済</p> <p>イ 国民生活と福祉</p>
<p>(3) 私たちと政治</p> <p>ア 人間の尊重と日本国憲法の基本原則</p> <p>イ 民主政治と政治参加</p>	<p>(3) 現代の民主政治とこれからの社会</p> <p>ア 人間の尊重と日本国憲法の基本原則</p> <p>イ 民主政治と政治参加</p>
<p>(4) 私たちと国際社会の諸課題</p> <p>ア 世界平和と人類の福祉の増大</p> <p>イ よりよい社会をめざして</p>	<p>ウ 世界平和と人類の福祉の増大</p>

# 小学校算数科の内容について(改訂案)

「新規の内容」は赤字, 「スパイラルのため学年間で重複させる内容」は緑字, 「学年間などで移行させる内容」は青字, 「算数的活動(知識・技能の活用等の学習活動)」については, 紫字で示した。

	A 数と計算	B 量と測定	C 図形	D 数量関係	算数的活動
1年	整数の意味と表し方 ・2位数, 簡単な3位数など 整数の加・減 ・1位数の加・減, 簡単な2位数の加・減	量の大きさの比較 ・長さ, 面積, 体積の大きさの直接比較 時刻の読み方(小2から移行)	図形 ・身の回りにあるものの形(平面図形, 立体図形)の観察や構成	式による表現 ・加法や減法の場面を式に表す(「A数と計算」から移行) 絵や図を用いた数量の表現	ア 具体物を数える活動 イ 計算の仕方を説明する活動 ウ 量の大きさを比べる活動 エ 形を作る活動 オ 場面を式に表す活動
2年	整数などの表し方 ・3位数, 4位数, 1万, 簡単な分数(1/2, 1/4など)など 整数の加・減 ・2位数の加・減, 簡単な3位数の加・減など 整数の乗法 ・乗法九九, 簡単な2位数の乗法(1位数×2位数)など	量の単位と測定 ・長さの単位(mm, cm, m) ・体積の単位(ml, dl, l)(小3から移行) 時間の単位(日, 時, 分)(小3から移行)	図形 ・三角形, 四角形 ・正方形, 長方形, 直角三角形(小3から移行) ・箱の形(小3から移行)	式による表現 ・加法と減法の相互関係(「A数と計算」から移行) ・乗法の場面を式に表す(「A数と計算」から移行) 簡単な表やグラフ(「A数と計算」から移行)	ア 整数が使われる場面を見付ける活動 イ 乗法九九表からきまりを見付ける活動 ウ 量の大きさの見当を付ける活動 エ 長方形などを作る活動 オ 式や図に表し説明する活動
3年	整数の表し方 ・万の単位, 1億など 整数の加・減 ・3位数や4位数の加・減など 整数の乗法 ・2位数や3位数の乗法(3位数×2位数など)など 整数の除法 ・1位数による簡単な除法(商が1位数や2位数)など 小数(小4から移行) ・小数の意味と表し方, 小数(1/10の位)の加・減 分数(小4, 小5から移行) ・分数の意味と表し方, 簡単な分数(同分母の真分数)の加・減 そろばん ・数の表し方と加・減	いろいろな単位と測定 ・長さ(km)や重さの単位(g, kg, t) 計器による測定 時間の単位(秒), 時刻や時間の計算	図形 ・二等辺三角形, 正三角形(小4から移行) ・角(小4から移行) ・円, 球(小4から移行)	式による表現 ・除法の場面を式に表す(「A数と計算」から移行) ・式と図の関連付け, 口などを用いた式など 表や棒グラフ	ア 計算の仕方を説明する活動 イ 小数や分数の大きさを比べる活動 ウ 単位の関係を調べる活動 エ 正三角形などを作図する活動 オ 資料を表を用いて表す活動
4年	整数の表し方 ・億, 兆の単位など およその数 ・概数, 四捨五入, 四則計算の見積り(小5, 6から移行) 整数の除法 ・2位数などによる除法など 整数の四則計算の定着と活用 小数の計算 ・小数の加・減(1/10, 1/100の位など) ・小数の乗・除(小数×整数, 小数÷整数)(小5から移行) 分数の計算 ・同分母分数(真分数, 仮分数)の加・減など(小5から移行) そろばん ・加・減	面積 ・面積の単位(cm <sup>2</sup> , m <sup>2</sup> , km <sup>2</sup> , a, ha)と測定 ・正方形, 長方形の面積の求め方 角の大きさの単位(度(°))	図形 ・直線の平行や垂直の関係(小5から移行) ・平行四辺形, ひし形, 台形(小5から移行) ・立方体, 直方体(小6から移行) ・ものの位置の表し方(平面や空間の位置の表し方)	伴って変わる二つの数量の関係 ・数量の変化の様子を折れ線グラフにして関係を調べる 式による表現 ・四則混合の式, ( )を用いた式, 公式 ・口, △などを用いた式 四則計算の性質(小5から移行) 資料の分類整理 ・二次元の表, 折れ線グラフ	ア 計算の見積りをし判断する活動 イ 面積の求め方を説明する活動 ウ 面積を実測する活動 エ ひし形などを敷き詰める活動 オ 身の回りの数量の関係を調べる活動
5年	整数の性質 ・奇数と偶数, 約数と倍数(小6から移行), 素数 整数と小数の記数法 小数の計算 ・小数の乗・除(1/10, 1/100の位など) 分数の計算 ・異分母分数(真分数, 仮分数)の加・減など(小6から移行) ・分数の乗・除(分数×整数, 分数÷整数)	面積 ・三角形, 平行四辺形の面積の求め方 ・ひし形, 台形の面積の求め方 体積(小6から移行) ・体積の単位(cm <sup>3</sup> , m <sup>3</sup> )と測定 ・立方体, 直方体の体積の求め方 測定値の平均 単位量当たりの大きさ(人口密度など)(小6から移行)	図形 ・多角形(正多角形を含む) ・図形の合同(中学校から一部移行) ・図形の性質 ・円周率 ・角柱, 円柱(小6から移行)	簡単な比例の関係 数量の関係の見方や調べ方 ・簡単な式で表されている二つの数量の関係を調べる 百分率 円グラフや帯グラフ	ア 計算の仕方を説明する活動 イ 面積の求め方を説明する活動 ウ 合同な図形をかく活動 エ 図形の性質を説明する活動 オ 目的に応じて表やグラフを選び活用する活動
6年	分数の計算 ・分数の乗・除(分数・小数の混合計算など) 小数や分数の四則計算の定着と活用	概形 ・およその面積など 面積(小5から移行) ・円の面積の求め方 体積 ・角柱, 円柱の体積の求め方(中学校から移行) 速さ ・速さの意味及び表し方, 速さの求め方 メートル法の単位の仕組み	図形 ・拡大図と縮図(中学校から移行) ・対称な図形(線対称, 点対称)(中学校から移行)	比 比例と反比例(中学校から一部移行) 文字を用いた式(a, xなど)(中学校から一部移行) 資料の調べ方 ・資料の平均 ・度数分布 起こり得る場合の数(中学校から移行)	ア 計算の仕方を説明する活動 イ 単位の関係を調べる活動 ウ 縮図などを見付ける活動 エ 比例の関係をもとに問題を解決する活動

(参考) 現行(平成10年告示)の小学校算数科の内容

	A 数と計算	B 量と測定	C 図形	D 数量関係
1年	<p>整数の意味と表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100までの数など</li> </ul> <p>整数の加・減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1位数の加・減, 加法や減法の場面を式に表す</li> </ul> <p>数え方の工夫</p>	<p>量の大きさの比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長さの直接比較</li> </ul>	<p>図形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある立体の観察や構成</li> </ul>	
2年	<p>整数の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4位数まで, 簡単な表やグラフなど</li> </ul> <p>整数の加・減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2位数の加・減, 加法と減法の相互関係など</li> </ul> <p>整数の乗法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法九九, 乗法の場面を式で表すなど</li> </ul>	<p>量の単位と測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長さの単位(mm, cm, m)</li> </ul> <p>時刻のよみ方</p>	<p>図形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形, 四角形など</li> </ul>	
3年	<p>整数の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万の単位など</li> </ul> <p>整数の加・減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3位数の加・減など</li> </ul> <p>整数の乗法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(1位数×2位数), (1位数×3位数), (2位数×2位数)など</li> </ul> <p>整数の除法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1位数による簡単な除法(商が1位数)など</li> </ul> <p>そろばん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数の表し方と加・減</li> </ul>	<p>いろいろな単位と測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長さの単位(km)</li> <li>・かさの単位(ml, dl, l)</li> <li>・重さの単位(g, kg)</li> </ul> <p>計器による測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた計器などの選択</li> </ul> <p>時間の単位(日, 時, 分, 秒), 時刻や時間の計算</p>	<p>図形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱の形</li> <li>・正方形, 長方形, 直角三角形</li> </ul>	<p>表と棒グラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な表(日時, 場所などの簡単な観点から分類・整理した表)</li> <li>・棒グラフのよみ方及びかき方</li> </ul>
4年	<p>整数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・億, 兆の単位など</li> </ul> <p>およその数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概数, 四捨五入</li> </ul> <p>整数の除法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2位数などによる除法など</li> </ul> <p>小数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数の意味と表し方, 小数(1/10の位)の加・減</li> </ul> <p>分数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の意味と表し方</li> </ul>	<p>面積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積の単位(<math>\text{cm}^2</math>, <math>\text{m}^2</math>, <math>\text{km}^2</math>)と測定</li> <li>・正方形, 長方形の面積の求め方</li> </ul> <p>角の大きさの単位(度<math>^\circ</math>)</p>	<p>図形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形, 正三角形</li> <li>・角</li> <li>・円, 球</li> </ul>	<p>伴って変わる二つの数量の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数量の変化の様子を表や折れ線グラフにして関係を調べる</li> </ul> <p>数量の関係の式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四則の混合した式, ( )を用いた式, 公式</li> </ul> <p>資料の分類整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を分類整理したり, 特徴を調べたりする(折れ線グラフなど)</li> </ul>
5年	<p>整数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奇数と偶数</li> </ul> <p>整数と小数の記数法</p> <p>小数の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数の乗・除(小数×整数, 小数÷整数, 1/10の位)</li> </ul> <p>分数の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同分母分数(真分数)の加・減など</li> </ul> <p>見積り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和と差の概数の見積り</li> </ul>	<p>面積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形, 平行四辺形の面積の求め方</li> <li>・円の面積の求め方</li> </ul>	<p>図形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線の平行や垂直の関係</li> <li>・平行四辺形, ひし形, 台形</li> <li>・図形の性質</li> <li>・円周率</li> </ul>	<p>四則計算の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交換法則, 結合法則, 分配法則の理解を深める</li> </ul> <p>百分率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーセント, 歩合</li> </ul> <p>円グラフ, 帯グラフ</p> <p>数量の関係の見方や調べ方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な式で表されている二つの数量の関係を調べる</li> </ul>
6年	<p>整数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約数と倍数</li> </ul> <p>分数の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異分母分数(真分数)の加・減など</li> <li>・分数の乗・除</li> </ul> <p>見積り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積と商の概数の見積り</li> </ul>	<p>概形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・およその面積など</li> </ul> <p>体積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体積の単位(<math>\text{cm}^3</math>, <math>\text{m}^3</math>)と測定</li> <li>・立方体, 直方体の体積の求め方</li> </ul> <p>異なる2量の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位量当たりの考え(人口密度など)</li> <li>・速さの意味及び表し方, 速さの求め方</li> </ul>	<p>図形</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立方体, 直方体</li> <li>・角柱, 円柱</li> </ul>	<p>比</p> <p>比例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比例の表やグラフ</li> </ul> <p>平均</p>

中学校数学科の内容について（改訂案）

「新規の内容」は赤字, 「学年間で移行させる内容」は青字, 「数学的活動（知識・技能の活用等の学習活動）」は紫字で示した。

	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料の活用	数学的活動
第1学年	<p><b>正の数・負の数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味</li> <li>数の集合と四則 (高校から移行)</li> <li>正負の数の四則計算</li> </ul> <p><b>文字を用いた式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味</li> <li>文字式の乗法と除法の表し方</li> <li>一次式の加法と減法の計算</li> <li>文字を用いた式に表すこと</li> <li>不等式を用いた表現 (高校から一部移行)</li> </ul> <p><b>一元一次方程式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方程式及びその解の意味</li> <li>等式の性質と一次方程式の解き方</li> <li>一次方程式を活用すること</li> <li>(比例式)</li> </ul>	<p><b>平面図形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な作図の方法とその活用</li> <li>図形の移動 (平行移動, 対称移動, 回転移動)</li> </ul> <p><b>空間図形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直線や平面の位置関係</li> <li>空間図形の構成と平面上の表現 (投影図)</li> <li>扇形の弧の長さや面積, 柱体や錐体及び球の表面積・体積</li> <li>(球の表面積・体積 (高校から移行))</li> </ul>	<p><b>比例, 反比例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味 (中2から移行)</li> <li>比例, 反比例の意味</li> <li>座標の意味</li> <li>比例, 反比例の特徴</li> <li>比例, 反比例を用いること</li> </ul>	<p><b>資料のちらばりと代表値</b> (高校から移行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや代表値の必要性和意味</li> <li>ヒストグラムや代表値を用いること (近似値や誤差などを含む)</li> </ul>	<p>ア 既習の数学を基にして, 数や図形の性質などを見いだす活動</p> <p>イ 日常生活で数学を活用する活動</p> <p>ウ 数学的な表現を用いて, 自分なりに説明する活動</p>
第2学年	<p><b>文字を用いた式の四則計算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整式の加減, 単項式の乗除の計算</li> <li>文字を用いた式で表したり読み取ったりすること</li> <li>目的に応じた式の変形</li> </ul> <p><b>連立二元一次方程式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二元一次方程式とその解の意味</li> <li>連立方程式とその解の意味</li> <li>連立方程式を解くことや活用すること</li> </ul>	<p><b>平面図形と平行線の性質</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平行線と角の性質</li> <li>多角形の角の性質</li> </ul> <p><b>図形の合同</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の合同と三角形の合同条件</li> <li>証明の必要性和意味及びその方法</li> <li>三角形や平行四辺形の基本的な性質</li> </ul>	<p><b>一次関数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一次関数の関係</li> <li>一次関数の特徴</li> <li>二元一次方程式と関数</li> <li>一次関数を用いること</li> </ul>	<p><b>確率</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>確率の必要性和意味及び確率の求め方</li> <li>確率を用いること</li> </ul>	<p>ア 既習の数学を基にして, 数や図形の性質などを見だし, 発展させる活動</p> <p>イ 日常生活や社会で数学を活用する活動</p> <p>ウ 数学的な表現を用いて, 根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動</p>
第3学年	<p><b>平方根</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平方根の必要性和意味</li> <li>(有理数・無理数 (高校から一部移行))</li> <li>平方根を含む式の計算</li> <li>平方根を用いること</li> </ul> <p><b>式の展開と因数分解</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単項式と多項式の乗法と除法の計算</li> <li>簡単な式の展開や因数分解</li> <li>文字を用いた式で数量関係をとらえること</li> </ul> <p><b>二次方程式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次方程式とその解の意味</li> <li>二次方程式を解くこと</li> <li>(二次方程式の解の公式 (高校から移行))</li> <li>二次方程式を活用すること</li> </ul>	<p><b>図形の相似</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形の相似と三角形の相似条件</li> <li>図形の基本的な性質</li> <li>平行線と線分の比</li> <li>相似な図形の相似比と面積比・体積比</li> <li>(相似な図形の面積比と体積比 (高校から移行))</li> <li>相似な図形の性質を活用すること</li> </ul> <p><b>円の性質</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係 (証明, 活用) (中2から移行)</li> <li>(円周角の定理の逆 (高校から移行))</li> </ul> <p><b>三平方の定理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理とその証明</li> <li>三平方の定理を活用すること</li> </ul>	<p><b>関数 <math>y=ax^2</math></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y=ax^2</math> の関係</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> の特徴</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> を用いること</li> <li>いろいろな事象と関数 (高校から移行)</li> </ul>	<p><b>標本調査</b> (高校から移行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査の必要性和意味</li> <li>標本調査で母集団の傾向をとらえ説明すること</li> </ul>	<p>ア 既習の数学を基にして, 数や図形の性質などを見だし, 発展させる活動</p> <p>イ 日常生活や社会で数学を活用する活動</p> <p>ウ 数学的な表現を用いて, 根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動</p>

小・中学校理科－A区分・第1分野（物理・化学領域）の内容について（改訂案）

赤字は、新規項目。下線は、移行項目。☆印は、選択から必修とする項目。

学年	エネルギー			粒子				
	エネルギーの見方	エネルギーの変換と保存	エネルギー資源の有効利用	粒子の存在	粒子の結合	粒子の保存性	粒子のもつエネルギー	
小学校第3学年	<b>風やゴムの働き</b> ・ 風の働き ・ ゴムの働き	<b>光の性質</b> ・ 光の反射・集光 ・ 光の当て方と明るさや暖かさ	<b>磁石の性質</b> ・ 磁石に引きつけられる物 ・ 異極と同極	<b>電気の通り道</b> ・ 電気を通すつなぎ方 ・ 電気を通す物			<b>物と重さ</b> ・ 形と重さ ・ 体積と重さ	
小学校第4学年		<b>電気の働き</b> ・ 乾電池の数とつなぎ方 ・ 光電池の働き		<b>空気と水の性質</b> ・ 空気の圧縮 ・ 水の圧縮			<b>金属、水、空気と温度</b> ・ 金属、水、空気の温度と体積の変化 ・ 金属、水、空気の温まり方の違い ・ 水の三態変化	
小学校第5学年	<b>振り子の運動☆</b> ・ 振り子の運動☆	<b>電流の働き(小6から移行)</b> ・ 鉄心の磁化、極の変化 ・ 電磁石の強さ				<b>物の溶け方</b> ・ 物が水に溶ける量の限度 ・ 物が水に溶ける量の変化 ・ 重さの保存		
小学校第6学年	<b>てこの規則性(小5から移行)</b> ・ てこの仕組み ・ てこのつり合い ・ てこの利用(身の回りにおけるてこを利用した道具)	<b>電気の利用</b> ・ 発電・蓄電 ・ 電気の変換(光、音、熱などへの変換) ・ 電気による発熱 ・ 電気の利用(身の回りにおける電気を利用した道具)		<b>燃焼の仕組み</b> ・ 燃焼の仕組み	<b>水溶液の性質</b> ・ 酸性、アルカリ性、中性 ・ 気体が溶けている水溶液 ・ 金属を変化させる水溶液			
中学校第1学年	<b>力と圧力</b> ・ 力の働き(力とばねの伸び、質量と重さの違いを含む) ・ 圧力(水圧、浮力を含む)	<b>光と音</b> ・ 光の反射・屈折 ・ 凸レンズの働き ・ 音の性質		<b>物質のすがた</b> ・ 身の回りの物質とその性質(プラスチックを含む) ・ 気体の発生と性質		<b>水溶液</b> ・ 物質の溶解 ・ 溶解度と再結晶	<b>状態変化</b> ・ 状態変化と熱 ・ 物質の沸点と融点	
中学校第2学年		<b>電流</b> ・ 回路と電流・電圧 ・ 電流・電圧と抵抗 ・ 電気とそのエネルギー(電力量、熱量を含む) ・ 静電気と電流(電子を含む)		<b>物質の成り立ち</b> ・ 物質の分解 ・ 原子・分子(周期表を含む)	<b>化学変化</b> ・ 化合 ・ 酸化と還元(中3から移行) ・ 化学変化と熱(中3から移行)	<b>化学変化と物質の質量</b> ・ 化学変化と質量の保存 ・ 質量変化の規則性		
中学校第3学年	<b>運動の規則性</b> ・ 力のつり合い(力の合成・分解を含む) ・ 運動の速さと向き ・ 力と運動		<b>力学的エネルギー</b> ・ 仕事とエネルギー(衝突(小5から移行)、仕事率を含む) ・ 力学的エネルギーの保存	<b>エネルギー</b> ・ 様々なエネルギーとその変換(熱の伝わり方、エネルギー変換の効率を含む) ・ エネルギー資源(放射線を含む)	<b>水溶液とイオン</b> ・ 水溶液の電導性 ・ 原子の成り立ちとイオン(電子、原子核を含む) ・ 化学変化と電池	<b>酸・アルカリとイオン</b> ・ 酸・アルカリ(中1から移行) ・ 中和と塩(中1から移行)		
			<b>科学技術と人間</b> ・ 科学技術の発展(科学技術の発展の過程、科学技術と人間生活とのかわり)☆ ・ 自然環境の保全と科学技術の利用<第2分野と共通>					

小・中学校理科－B区分・第2分野（生物・地学領域）の内容について（改訂案）

赤字は、新規項目。下線は、移行項目。☆印は、選択から必修とする項目。

学年	生 命				地 球		
	生物の構造と機能	生物の多様性と共通性	生命の連続性	生物と環境のかかわり	地球の内部	地球の表面	地球の周辺
小学校第3学年	<b>昆虫と植物</b> ・ 昆虫の育ち方と体のつくり ・ 植物の育ち方と体のつくり			<b>身近な自然の観察</b> ・ 身の回りの生物の様子 ・ 身の回りの生物と周辺の環境とのかかわり		<b>太陽と地面の様子</b> ・ 日陰の位置と太陽の動き ・ 日なたと日陰の地面の暖かさや湿り気の違い	
小学校第4学年	<b>人の体のつくりと運動</b> ・ 骨と筋肉 ・ 骨と筋肉の働き(関節の働きを含む)	<b>季節と生物</b> ・ 動物の活動と季節とのかかわり ・ 植物の成長と季節とのかかわり				<b>天気の様子</b> ・ <u>天気による1日の気温の変化(小5から移行)</u> ・ 水の自然蒸発と結露	<b>月と星</b> ・ 月の動き ・ 星の明るさ、色 ・ 星の動き
小学校第5学年			<b>植物の発芽、成長、結実</b> ・ 種子の中の養分 ・ 発芽の条件 ・ 成長の条件 ・ 植物の受粉、結実	<b>動物の誕生☆</b> ・ 卵の中の成長☆ ・ <u>水中の小さな生物</u> ・ 母体内の成長☆		<b>流水の働き</b> ・ 流れる水の働き(浸食、堆積) ・ <u>川の上流・下流と川原の石の大きさや形</u> ・ 雨の降り方と増水	<b>天気の変化</b> ・ <u>雲と天気の変化の関係</u> ・ 天気の変化の予想
小学校第6学年	<b>人の体のつくりと働き</b> ・ 人の呼吸 ・ 人の消化・吸収 ・ 人の血液循環 ・ <u>主な臓器の存在(肺、胃、小腸、大腸、肝臓、腎臓、心臓)</u>	<b>植物の養分と水の通り道</b> ・ <u>でんぷんのでき方</u> ・ <u>水の通り道</u>			<b>生物と環境</b> ・ 生物と水、空気とのかかわり ・ <u>食べ物による生物の関係(食物連鎖)</u>	<b>土地のつくりと変化</b> ・ 土地の構成物と地層の広がり ・ 流れる水と火山の噴火による地層のでき方と化石 ・ 火山の噴火や地震による土地の変化☆	<b>月と太陽</b> ・ 月の位置や形と太陽の位置 ・ 月の表面の様子
中学校第1学年	<b>植物の体のつくりと働き</b> ・ 花のつくりと働き ・ 葉・茎・根のつくりと働き	<b>植物の仲間</b> ・ 種子植物の仲間 ・ <u>種子をつくらない植物の仲間</u>		<b>生物の観察</b> ・ 生物の観察	<b>火山と地震</b> ・ 火山活動と火成岩 ・ 地震の伝わり方と地球内部の働き	<b>地層の重なりと過去の様子</b> ・ 地層の重なりと過去の様子	
中学校第2学年	<b>動物の体のつくりと働き</b> ・ 生命を維持する働き(消化、呼吸、血液の循環、排出) ・ 刺激と反応	<b>生物と細胞</b> ・ <u>生物と細胞(中3から移行)</u>				<b>気象観測</b> ・ 気象観測	<b>天気の変化</b> ・ 霧や雲の発生 ・ 前線の通過と天気変化 ・ <u>日本の天気の特徴</u> ・ 大気の動きと海洋の影響
中学校第3学年			<b>生物の成長と殖え方</b> ・ 細胞分裂と生物の成長 ・ 生物の殖え方	<b>生物と環境</b> ・ 自然界のつり合い ・ 自然環境の調査と環境保全( <u>地球温暖化、外来種を含む</u> )			<b>天体の動きと地球の自転・公転</b> ・ 日周運動と自転 ・ 年周運動と公転
			<b>遺伝の規則性と遺伝子</b> ・ <u>遺伝の規則性と遺伝子(DNAを含む)</u>	<b>自然と人間</b> ・ 自然の恵みと災害☆ ・ <u>自然環境の保全と科学技術の利用&lt;第1分野と共通&gt;</u>			<b>太陽系と恒星</b> ・ 太陽の様子 ・ 月の運動と見え方( <u>日食、月食を含む</u> ) ・ 惑星と恒星( <u>銀河系を含む</u> )

## ○小学校「家庭科」

<b>改 訂 案</b>	
<b>A 家庭生活と家族</b>	
(1)	自分の成長と家族 ア 成長の自覚，家庭生活と家族の大切さ
(2)	家庭生活と仕事 ア 家庭の仕事と分担 イ 生活時間の工夫
(3)	家族や近隣の人々とのかかわり ア 家族との触れ合いや団らん イ 近隣の人々とのかかわり
<b>B 日常の食事と調理の基礎</b>	
(1)	食事の役割 ア 食事の役割と日常の食事の大切さ イ 楽しく食事をするための工夫
(2)	栄養を考えた食事 ア 体に必要な栄養素の種類と働き イ 食品の栄養的な特徴と組み合わせ ウ 1食分の献立
(3)	調理の基礎 ア 調理への関心と調理計画 イ 材料の洗い方，切り方，味の付け方，盛り付け，配膳及び後片付け ウ ゆでたり，いためたりする調理 エ 米飯及びみそ汁の調理 オ 用具や食器の安全で衛生的な取扱い，こんろの安全な取扱い
<b>C 快適な衣服と住まい</b>	
(1)	衣服の着用と手入れ ア 衣服の働きと快適な着方の工夫 イ 日常着の手入れとボタン付け及び洗たく
(2)	快適な住まい方 ア 住まい方への関心，整理・整とん及び清掃の仕方と工夫 イ 季節の変化に合わせた生活の大切さ，快適な住まい方の工夫
(3)	生活に役立つ物の製作 ア 形などの工夫と製作計画 イ 手縫いやミシン縫いによる製作・活用 ウ 用具の安全な取扱い
<b>D 身近な消費生活と環境</b>	
(1)	物や金銭の使い方と買い物 ア 物や金銭の大切さ，計画的な使い方 イ 身近な物の選び方，買い方
(2)	環境に配慮した生活の工夫 ア 身近な環境とのかかわり，物の使い方の工夫

<b>現 行</b>	
<b>(1) 家庭生活と家族</b>	
	ア 家庭の仕事 イ 自分の仕事の工夫 ウ 生活時間と家族への協力 エ 家族との触れ合いや団らん
<b>(2) 衣服への関心</b>	
	ア 衣服の働きと着方 イ 日常着の手入れとボタン付け及び洗たく
<b>(3) 生活に役立つ物の製作</b>	
	ア 製作計画 イ 手縫いやミシン縫いによる製作 ウ 用具の安全な取扱い
<b>(4) 食事への関心</b>	
	ア 食品の栄養的な特徴と食品の組み合わせ イ 1食分の食事
<b>(5) 簡単な調理</b>	
	ア 調理計画 イ 洗い方，切り方，味の付け方，後片付け ウ ゆでたり，いためたりする調理 エ 米飯及びみそ汁の調理 オ 盛り付けや配膳，楽しい食事 カ 用具や食器の安全で衛生的な取扱い，こんろの安全な取扱い
<b>(6) 住まい方への関心</b>	
	ア 整理・整とん，清掃の工夫 イ 身の回りを快適に整えるための手立てや工夫，気持ちよい住まい方
<b>(7) 物や金銭の使い方と買物</b>	
	ア 物や金銭の使い方 イ 身の回りの物の選び方や買い方を考えた購入
<b>(8) 家庭生活の工夫</b>	

○中学校「技術・家庭科」(技術分野)

改訂案	
<b>A 材料と加工に関する技術</b>	
(1)生活や産業の中で利用されている技術 ア 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割 イ 技術の進展と環境との関係	
(2)材料と加工法 ア 材料の特徴と利用方法 イ 材料に適した加工法と、工具や機器の安全な使用 ウ 材料と加工に関する技術の適切な評価・活用	
(3)材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作 ア 使用目的や使用条件に即した機能と構造 イ 構想の表示方法と、製作図 ウ 部品加工、組立て及び仕上げ	
<b>B エネルギー変換に関する技術</b>	
(1)エネルギー変換機器の仕組みと保守点検 ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み イ 機器の基本的な仕組み、保守点検と事故防止 ウ エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用	
(2)エネルギー変換に関する技術を活用した製作品の設計・製作 ア 製作品に必要な機能と構造の選択と、設計 イ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検	
<b>C 生物育成に関する技術</b>	
(1)生物の生育環境と育成技術 ア 生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法 イ 生物育成に関する技術の適切な評価・活用	
(2)生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育 ア 目的とする生物の育成計画と、栽培又は飼育	
<b>D 情報に関する技術</b>	
(1)情報通信ネットワークと情報モラル ア コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組み イ 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組み ウ 著作権や発信した情報に対する責任と、情報モラル エ 情報に関する技術の適切な評価・活用	
(2)デジタル作品の設計・制作 ア メディアの特徴と利用方法、制作品の設計 イ 多様なメディアの複合による表現や発信	
(3)プログラムによる計測・制御 ア コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組み イ 情報処理の手順と、簡単なプログラムの作成	

現行学習指導要領	
<b>A 技術とものづくり</b>	
必修	(1)生活や産業の中で技術の果たしている役割 ア 技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割 イ 技術と環境・エネルギー・資源との関係
	(2)製作品の設計 ア 使用目的や使用条件に即した製作品の機能と構造 イ 製作品に用いる材料の特徴と利用方法 ウ 製作品の構想の表示方法と、製作に必要な図
	(3)製作に使用する工具や機器の使用方法和加工技術 ア 材料に適した加工法 イ 製作品の部品加工、組立て及び仕上げ
	(4)製作に使用する機器の仕組み及び保守 ア 機器の基本的な仕組み イ 機器の保守と事故防止
選択	(5)エネルギーの変換を利用した製作品の設計・製作 ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みと、製作品の設計 イ 製作品の組立て・調整や、電気回路の配線・点検
	(6)作物の栽培 ア 作物の種類とその生育過程及び栽培に適する環境条件 イ 栽培する作物に即した計画と、作物の栽培
<b>B 情報とコンピュータ</b>	
必修	(1)生活や産業の中で情報手段の果たしている役割 ア 情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかわり イ 情報化が社会や生活に及ぼす影響と、情報モラルの必要性
	(2)コンピュータの基本的な構成と機能及び操作 ア コンピュータの基本的な構成と機能、操作 イ ソフトウェアの機能
	(3)コンピュータの利用 ア コンピュータの利用形態 イ ソフトウェアを用いた基本的な情報の処理
	(4)情報通信ネットワーク ア 情報の伝達方法の特徴と利用方法 イ 情報の収集、判断、処理、発信
選択	(5)コンピュータを利用したマルチメディアの活用 ア マルチメディアの特徴と利用方法 イ ソフトウェアの選択と表現や発信
	(6)プログラムと計測・制御 ア プログラムの機能と、簡単なプログラムの作成 イ コンピュータを用いた簡単な計測・制御

※ A(5), (6), B(5), (6)の4項目のうちから1又は2項目を選択

○ 中学校「技術・家庭科」（家庭分野）

改 訂 案	
<b>A 家族・家庭と子どもの成長</b>	
(1) 自分の成長と家族	ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり
(2) 家庭と家族関係	ア 家庭や家族の基本的な機能，家庭生活と地域とのかかわり イ これからの自分と家族，家族関係をよりよくする方法
(3) 幼児の生活と家族	ア 幼児の発達と生活の特徴，家族の役割 イ 幼児の観察や遊び道具の製作，幼児の遊びの意義 ウ 幼児との触れ合い，かかわり方の工夫 エ 家族又は幼児の生活についての課題と実践
<b>B 食生活と自立</b>	
(1) 中学生の食生活と栄養	ア 食事が果たす役割，健康によい食習慣 イ 栄養素の種類と働き，中学生の栄養の特徴
(2) 日常食の献立と食品の選び方	ア 食品の栄養的特質，中学生の1日に必要な食品の種類と概量 イ 中学生の1日分の献立 ウ 食品の選択
(3) 日常食の調理と地域の食文化	ア 基礎的な日常食の調理，食品や調理用具等の適切な管理 イ 地域の食材を生かした調理，地域の食文化 ウ 食生活についての課題と実践
<b>C 衣生活・住生活と自立</b>	
(1) 衣服の選択と手入れ	ア 衣服と社会生活とのかかわり，目的に応じた着用や個性を生かす着用の工夫 イ 衣服の計画的な活用や選択 ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ
(2) 住居の機能と住まい方	ア 住居の基本的な機能 イ 安全な室内環境の整え方，快適な住まい方の工夫
(3) 衣生活，住生活などの生活の工夫	ア 布を用いた物の製作，生活を豊かにするための工夫 イ 衣生活又は住生活についての課題と実践
<b>D 身近な消費生活と環境</b>	
(1) 家庭生活と消費	ア 消費者の基本的な権利と責任 イ 販売方法の特徴，物資・サービスの選択，購入及び活用
(2) 家庭生活と環境	ア 環境に配慮した消費生活の工夫と実践

現 行	
<b>A 生活の自立と衣食住</b>	
必修	(1) 中学生の栄養と食事 ア 食事の役割，健康と食事 イ 栄養素の種類と働き，中学生の栄養の特徴 ウ 食品の栄養的特質，1日分の献立
	(2) 食品の選択と日常食の調理の基礎 ア 食品の適切な選択 イ 簡単な日常食の調理 ウ 食品や調理用具等の適切な管理
	(3) 衣服の選択と手入れ ア 衣服と社会生活とのかかわり，目的に応じた着用，個性を生かす着用の工夫 イ 日常着の計画的な活用と選択 ウ 衣服材料に応じた手入れと補修
	(4) 室内環境の整備と住まい方 ア 住居の機能 イ 安全で快適な室内環境の整え方の工夫
選択	(5) 食生活の課題と調理の応用 ア 日常食や地域の食材を生かした調理 イ 会食の計画と実践
	(6) 簡単な衣服の製作 ア 衣服の基本的な構成 イ 簡単な衣服の計画と製作
<b>B 家族と家庭生活</b>	
必修	(1) 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり
	(2) 幼児の発達と家族 ア 幼児の観察や遊び道具の製作，幼児の遊びの意義 イ 幼児の発達と家族の役割
	(3) 家庭と家族関係 ア 家庭や家族の基本的な機能，家族関係をよりよくする方法 イ 家庭生活と地域の人々
	(4) 家庭生活と消費 ア 販売方法の特徴や消費者保護，物資・サービスの選択，購入及び活用 イ 環境に配慮した消費生活の工夫
選択	(5) 幼児の生活と幼児との触れ合い ア 幼児の生活に役立つものの製作 イ 幼児との触れ合い
	(6) 家庭生活と地域とのかかわり ア 地域の人々との交流 イ 環境や資源に配慮した生活の工夫

※ 枠囲みは選択項目。3学年間で1～2項目を選択

※ A(5),(6),B(5),(6)の4項目のうちから1又は2項目を選択

小学校体育科の内容及び取扱い等(改訂案)

1年	2年	3年	4年	5年	6年
<b>【体づくり運動】</b>					
体ほぐしの運動	体ほぐしの運動	体ほぐしの運動	体ほぐしの運動	体ほぐしの運動	体ほぐしの運動
多様な動きづくりの運動遊び	多様な動きづくりの運動遊び	多様な動きづくりの運動	多様な動きづくりの運動	体力を高める運動	体力を高める運動
<b>【器械・器具を使つての運動遊び】</b>		<b>【器械運動】</b>			
固定施設を使つた運動遊び					
マットを使つた運動遊び		マット運動		マット運動	
鉄棒を使つた運動遊び		鉄棒運動		鉄棒運動	
跳び箱を使つた運動遊び		跳び箱運動		跳び箱運動	
<b>【走・跳の運動遊び】</b>		<b>【走・跳の運動】</b>		<b>【陸上運動】</b>	
走の運動遊び		かけっこ・リレー		短距離走・リレー	
		小型ハードル走		ハードル走	
跳の運動遊び		幅跳び		走り幅跳び	
		高跳び		走り高跳び	
<b>【水遊び】</b>		<b>【浮く・泳ぐ運動】</b>		<b>【水泳】</b>	
水慣れ遊び		浮く運動		クロール	
浮く・もぐる遊び		泳ぐ運動		平泳ぎ	
<b>【ゲーム】</b>			<b>【ボール運動】</b>		
ボールゲーム			ゴール型ゲーム		
			ネット型ゲーム		
鬼遊び			ベースボール型ゲーム		
<b>【表現リズム遊び】</b>			<b>【表現運動】</b>		
表現遊び			表現		
			リズムダンス		
リズム遊び			フォークダンス		
			<b>【保健】</b>		
			毎日の生活と健康		育ちゆく体とわたし
					心の健康 けがの防止
					病気の予防

小学校体育科の内容及び取扱い等(現行)

1年	2年	3年	4年	5年	6年
<b>【基本の運動】</b>				<b>【体づくり運動】</b>	
( 力試しの運動遊び )	( 用具を操作する運動遊び )	( 力試しの運動 )	( 用具を操作する運動 )	体ほぐしの運動	体ほぐしの運動
				体力を高める運動	
		体の柔らかさを高めるための運動	体の柔らかさを高めるための運動		
		巧みな動きを高めるための運動	巧みな動きを高めるための運動		
		力強い動きを高めるための運動			
		動きを持続する能力を高めるための運動			
(※器械運動系)			<b>【器械運動】</b>		
器械・器具を使っての運動遊び	器械・器具を使っての運動遊び	器械・器具を使っての運動	マット運動	マット運動	
			鉄棒運動	鉄棒運動	
			跳び箱運動	跳び箱運動	
(※陸上運動系)			<b>【陸上運動】</b>		
走・跳の運動遊び	走・跳の運動遊び	走・跳の運動	走・跳の運動	短距離走・リレー	
				ハードル走	
				走り幅跳び	
				走り高跳び	
(※水泳系)			<b>【水泳】</b>		
水遊び	水遊び	浮く・泳ぐ運動	クロール	クロール	
			平泳ぎ	平泳ぎ	
<b>【ゲーム】</b>			<b>【ボール運動】</b>		
ボールゲーム	ボールゲーム	バスケットボール型ゲーム		バスケットボール	
		サッカー型ゲーム		サッカー	
鬼遊び		ベースボール型ゲーム		ソフトボール又はソフトバレーボール	
<b>【基本の運動】(※表現運動系)</b>			<b>【表現運動】</b>		
表現リズム遊び	表現リズム遊び	表現	表現	表現	
		リズムダンス	リズムダンス		
				フォークダンス	
			<b>【保健】</b>		
		毎日の生活と健康	育ちゆく体とわたし	けがの防止 心の健康	病気の予防

中学校保健体育の内容及び取扱い等(改訂案)

【体育分野】

領域及び内容	1年	2年	内容の取扱い	領域及び内容	3年	内容の取扱い
<b>【A 体づくり運動】</b>				<b>【A 体づくり運動】</b>		
ア 体ほぐしの運動	<b>必修</b>	<b>必修</b>	ア、イ 必修 (各学年7時間以上)	ア 体ほぐしの運動	<b>必修</b>	ア、イ 必修 (7時間以上)
イ 体力を高める運動				イ 体力を高める運動		
<b>【B 器械運動】</b>	<b>必修</b>		2年間でアを含む ②選択	<b>【B 器械運動】</b>	<b>B, C, D, G から ①以上 選択</b>	ア～エから選択
ア マット運動				ア マット運動		
イ 鉄棒運動				イ 鉄棒運動		
ウ 平均台運動				ウ 平均台運動		
エ 跳び箱運動				エ 跳び箱運動		
<b>【C 陸上競技】</b>	<b>必修</b>		2年間でア及びイの それぞれから選択	<b>【C 陸上競技】</b>	<b>B, C, D, G から ①以上 選択</b>	ア及びイの それぞれから選択
ア 短距離走・リレー、長距離走又はハードル走				ア 短距離走・リレー、長距離走又はハードル走		
イ 走り幅跳び又は走り高跳び				イ 走り幅跳び又は走り高跳び		
<b>【D 水泳】</b>	<b>必修</b>		2年間でア又はイ を含む②選択	<b>【D 水泳】</b>	<b>B, C, D, G から ①以上 選択</b>	ア～オから選択
ア クロール				ア クロール		
イ 平泳ぎ				イ 平泳ぎ		
ウ 背泳ぎ				ウ 背泳ぎ		
エ バタフライ				エ バタフライ		
				オ 二つ以上の泳法を組み合わせ て泳ぐ		
<b>【E 球技】</b>	<b>必修</b>		2年間でア～ウの すべてを選択	<b>【E 球技】</b>	<b>E, F から ①以上 選択</b>	ア～ウから②選択
ア ゴール型				ア ゴール型		
イ ネット型				イ ネット型		
ウ ベースボール型				ウ ベースボール型		
<b>【F 武道】</b>	<b>必修</b>		ア～ウから①選択	<b>【F 武道】</b>	<b>E, F から ①以上 選択</b>	ア～ウから①選択
ア 柔道				ア 柔道		
イ 剣道				イ 剣道		
ウ 相撲				ウ 相撲		
<b>【G ダンス】</b>	<b>必修</b>		ア～ウから選択	<b>【G ダンス】</b>	<b>B, C, D, G から ①以上 選択</b>	ア～ウから選択
ア 創作ダンス				ア 創作ダンス		
イ フォークダンス				イ フォークダンス		
ウ 現代的なリズムのダンス				ウ 現代的なリズムのダンス		
<b>【H 体育理論】</b>	<b>必修</b>	<b>必修</b>	(1)は1年次、 (2)は2年次で必修 (各学年3時間以上)	<b>【H 体育理論】</b>	<b>必修</b>	(1)必修 (3時間以上)
(1)運動やスポーツが多様であること				(1)文化としてのスポーツの意義		
(2)運動やスポーツの意義や効果など						

【保健分野】

内容	1年	2年	3年	内容の取扱い
(1)心身の機能の発達と心の健康	<b>必修</b>	<b>必修</b>	<b>必修</b>	(1)は1年次で必修 (2)、(3)は2年次で必修 (4)は3年次で必修
(2)健康と環境				
(3)傷害の防止				
(4)健康な生活と疾病の予防				

中学校保健体育の内容及び取扱い等(現行)

〔体育分野〕

領域及び内容	1年	2年	3年	内容の取扱い
<b>【A 体づくり運動】</b>	<b>必修</b>	<b>必修</b>	<b>必修</b>	ア、イ 必修
ア 体ほぐしの運動				
イ 体力を高める運動 (ア)体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動 (イ)力強い動きを高めるための運動 (ウ)動きを持続する能力を高めるための運動				
<b>【B 器械運動】</b>	<b>必修</b>			ア～エから選択
ア マット運動				
イ 鉄棒運動				
ウ 平均台運動 エ 跳び箱運動				
<b>【C 陸上競技】</b>	<b>必修</b>	B, C, Dから①又は② 選択	B, C, Dから①又は② 選択	ア及びイの それぞれから選択
ア 短距離走・リレー、長距離走又はハードル走 イ 走り幅跳び又は走り高跳び				
<b>【D 水泳】</b>	<b>必修</b>			ア～オから選択
ア クロール				
イ 平泳ぎ ウ 背泳ぎ				
<b>【E 球技】</b>	<b>必修</b>			ア～オから②選択
ア バスケットボール又はハンドボール				
イ サッカー				
ウ バレーボール				
エ テニス、卓球又はバドミントン オ ソフトボール				
<b>【F 武道】</b>	F、Gから1 選択	E、F、Gから② 選択	E、F、Gから② 選択	ア～ウから①選択
ア 柔道				
イ 剣道 ウ 相撲				
<b>【G ダンス】</b>				ア～ウから選択
ア 創作ダンス				
イ フォークダンス ウ 現代的なリズムのダンス				
<b>【H 体育に関する知識】</b>	<b>必修</b>	<b>必修</b>	<b>必修</b>	(1)、(2) 必修
(1)運動の特性と学び方 (2)体ほぐし・体力の意義と運動の効果				

〔保健分野〕

内容	1年	2年	3年	内容の取扱い
(1)心身の機能の発達と心の健康 (2)健康と環境 (3)傷害の防止 (4)健康な生活と疾病の予防	<b>必修</b>	<b>必修</b>	<b>必修</b>	(1)は1年次で必修 (2)、(3)は2年次で必修 (4)は3年次で必修

## 中学校学習指導要領における語数の変遷

	昭和33年	昭和44年	昭和52年	平成元年	平成10年	改訂案
指導語数 (※1)	1,100語～ 1,300語程度	950語～ 1,100語	900語～ 1,050語	～1,000語程度	～900語程度	1200語程度
共通語数 (別表掲載語) (※2)	520語	610語	490語	507語	100語	/

※1 指導語数:すべての生徒に指導する語の数

※2 共通語数:上記の指導語の中に含めて共通に指導する語の数